

ハイトワゴン市場に、新たな価値観を提案

「こんな軽自動車があったら面白いだろうな」と、デザイナーが自由な発想で描いた1枚のスケッチ。デザイン室に何気なく飾られていたそのスケッチは、「これ、カッコいい!!オモシロい!!」とみるみる社内で評判となり、実際につくってみようと開発がスタートした。そんな型破りな出発点だから、とことん遊び心を持って型破りな「N」にこだわりたい。そのために、開発コンセプトは「ファンキー・チョップトップ」とした。開発に煮詰まったら、判断基準はファンキーが否か。ストーリーを物語るデザインや、重低音&高音質なサウンドをHondaの技術力と創意工夫で実現し、その上で基本性能もさらに進化させる。そんな、造り手の夢と情熱が生み出した新しい世界を切り拓く型破りな軽自動車が、N-BOX SLASHだ。



▲カリフォルニアの道路沿いのダイナーレストランをイメージ
◀8スピーカー+1サブウーファーが 車内をライブ会場に変える

エヌボックス N-BOX スラッシュ

低燃費

走行燃料消費率 (JC08モード)

25.8km/ℓ

※NAエンジン FF車



発行所
日刊自動車新聞社
東京都港区芝大門1丁目10番11号
芝大門センタービル3階
電話 東京 (03) 5777-2351 代表

ホンダ

N-BOX
スラッシュ

特集号



合い言葉は“それって、ファンキー?”



安全性能とあんしんパッケージ

Hondaの軽自動車ならではの、トップクラスの安全性が備わっているのもN-BOX SLASHの大きな魅力だ。前席用のサイドエアバッグ/サイドカーテンエアバッグと共に「あんしんパッケージ」としてタイプ別設定のシティブレーキアクティブシステムは、約30km/h以下で走行中に前方車両との衝突の回避・被害の軽減を自動ブレーキで支援してくれる。また前方に障害物がある時にアクセルペダルを踏み込むと、急発進の防止を支援。ペダル踏み間違いなどの誤発進抑制機能が付いている。さらに、坂道発進での後退を防ぐヒルスタートアシストや、横滑りなどを防ぐVSA、急ブレーキ時の追突事故を防ぐエマージェンシーストップシグナルを全車に装備している。



前席用1サイドエアバッグシステム+サイドカーテンエアバッグシステム



シティブレーキアクティブシステム作動イメージ



同センサー部

純正アクセサリ

N-BOX SLASHをとことん遊び抜くことをテーマに、さまざまな純正アクセサリが用意されている。とくに目を引くのは、クルマをミュージックBOXと想定し、3つの架空の音楽レーベルがテーマとなったアクセサリ。ロックをイメージした「ホットサウンド」、老舗のライブハウスに響くブルースを思わせる「ブルージーサウンド」、そしてリラックスできるリゾートをイメージした「サンセットレコード」では、それぞれのテーマに沿ったインテリアパネルやルームミラーカバー、フロントグリルやアルミホイールなどが用意され、眺めているだけでも楽しい。女性には、『バービー』とコラボレーションしたコーディネートもおすすすめだ。



ホットサウンド



ブルージーサウンド



サンセットレコード



ブルージーサウンド インテリア



アルミホイール ガーニッシュ (イエロー)



「バービー」コレクション エンブレム



「バービー」コレクション シートカバー

HONDA N-BOX SLASH 主要諸元表	タイプ	G		Aパッケージ		ターボAパッケージ		X		ターボパッケージ	
	駆動方式	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD	FF	4WD
トランスミッション		無段変速オートマチック(トルクコンバーター付)*									
全長 / 全幅(mm)		3,395 / 1,475									
全高(mm)		1,670	1,685	1,670	1,685	1,670	1,685	1,670	1,685	1,670	1,685
ホイールベース(mm)		2,520									
トレッド(mm)	前	1,305	1,300	1,305	1,300	1,305	1,300	1,305	1,300	1,295	1,290
	後	1,305								1,295	
最低地上高(mm)		140									
車両重量(kg)		920	970	920	970	940	990	930	980	950	1,000
乗車定員(名)		4									
客室内寸法(mm)長さ / 幅 / 高さ		2,180 / 1,335 / 1,290									
エンジン型式 / 種類		SO7A / 水冷直列3気筒横置									
エンジン総排気量(ℓ)		0.658									
使用燃料種類		無鉛レギュラーガソリン									
燃料タンク容量(ℓ)		35	30	35	30	35	30	35	30	35	30
エンジン最高出力(kW・PS/rpm)		43/58/7,300		47/64/6,000		43/58/7,300		47/64/6,000		47/64/6,000	
エンジン最大トルク(N・m/kgf・m/rpm)		65/6.6/4,700		104/10.6/2,600		65/6.6/4,700		104/10.6/2,600		104/10.6/2,600	
JC08モード燃費(km/ℓ)		25.8	24.8	25.8	24.8	24.0	21.8	25.8	23.8	23.0	21.0
最小回転半径(m)		4.5	4.7	4.5	4.7	4.5	4.7	4.5	4.7	4.7	4.7
タイヤサイズ		155/65R14 75S								165/55R15 75V	
ステアリング装置形式		ラック・ピニオン式(電動パワーステアリング仕様)									
ブレーキ	前	油圧式 ディスク				油圧式ベンチ レーテッドディスク		油圧式 ディスク		油圧式ベンチ レーテッドディスク	
	後	油圧式リーディング・トレーリング									
サスペンション	前	マクファーソン式									
	後	車軸式	ドレイオン式	車軸式	ドレイオン式	車軸式	ドレイオン式	車軸式	ドレイオン式	車軸式	ドレイオン式

*G・ターボAパッケージ・X・ターボパッケージは、無段変速オートマチック(トルクコンバーター付)[7スピードモード付]+パドルシフトとなります。詳しくはお近くのホンダカースまでお問い合わせください。



N-BOX SLASH



スモールな新しい世界を切り拓く、型破りな軽の創造



N-BOX のルーフを削って低くしたサイドビュー



メッキ加飾により、カスタム感あふれるエクステリア

カードディッシュホイール ブラック(左)とホワイト(右) 2ドアクーペスタイルにこだわる



エクステリア

天井が高く広大な室内空間を持つN-BOXを、クーペのようにデザインする「BOXクーペスタイル」が、N-BOX SLASHの大きな特徴だ。開発コンセプト「ファンキー・チョップトップ」のチョップトップとは、カスタムカーの本場アメリカで黄金バランスと言われている、“4インチ(約100mm)”ルーフを低くするスタイルのこと。リアのドアハンドルをあえて隠して2ドアクーペのように見せたり、メッキ調ルーフモールなどで金属感を演出するなど、数々のこだわりが詰まっている。また、「ストーリーをデザインしよう!」を合い言葉にエクステリア、インテリア、カラーをトータルで考えて、ひとつの世界観をつくり出すことも大きなテーマ。そのために専用ホイールキャップまで用意するという、徹底したエクステリアデザインとなっている。

先進安全性

世界初にして軽自動車初のシステムとしてN-BOX SLASHに採用されたのが、ボタンひとつで確実にパーキングブレーキをかけられる、電子制御パーキングブレーキ。停車時にはイグニッションをオフにすると自動的にパーキングブレーキが作動し、発進時にはアクセルを踏むと自動的にパーキングブレーキが解除される、ブレーキワイヤーを用いない直動式ドラムブレーキだ。これなら坂道発進の際や渋滞時などさまざまなシーンでの運転負担を減らし、かけ忘れや解除忘れなどのうっかりミスも防止してくれる。さらに、寒い時期に助かるステアリングヒーターとシートヒーターを採用したほか、紫外線を99%カットして室温を上昇させる赤外線もカットする、IRカット(遮熱) / スーパー UVカットガラスをフロントまわりのウィンドウに採用。使う人にとってうれしい機能がしっかり備わっている。



アルミドームツイーター

車内をライブ会場に変える

サウンド

プライベートブースがテーマならば、音にこだわって音楽をとことん楽しめる空間にしたい。スペースに制約のある軽自動車でも、まるで車内がライブ会場になるような高級サウンドシステムを実現することを目指したN-BOX SLASH。システム設計はもちろん、0.1dB単位での徹底した専用チューニングやレイアウトを繰り返し、ついに完成したのが8スピーカー +1サブウーファーからなる、新開発のサウンドマッピングシステム(タイプ別設定)だ。とくに苦労したのは、パワフルな重低音を引き出しつつ、全域でのバランスのとれた高音質のサウンドをつくること。そのため音響ブランド「FOSTEX」の協力をあおぎ、専用のバックロードホーン型サブウーファーを共同開発した。そのほか、レスポンスがよく迫力ある低音再生のためのケブラーコーンスピーカや、クリアで繊細な高音の再生に欠かせないアルミドームツイーターを採用し、高音質でハイパワーなサウンドを実現するために、専用MOS-FETパワーアンプも新開発。エンジン音などのノイズキャンセラー効果も取り入れ、臨場感あふれるサウンドが心ゆくまで楽しめる空間となっている。

パフォーマンス

N-BOXで定評のある高性能エンジンをベースに、加速性能と燃費性能の向上を目指してチューニングしたのが、N-BOX SLASHのパワートレインだ。新たにサーモバルブを採用したCVTや、車重に合わせて最適化したファイナルギアレシオなどで、爽快な加速と25.8km/ℓ(JC08モード NAエンジン、FF車)という低燃費を実現している。信号待ちなどで自動的にエンジンを停止して燃料消費を抑えるアイドリングストップや、押すだけで自動的に省燃費運転をしてくれるECONモードも全車に採用。また、しっかりした手応えの「標準」設定と、低速時に軽々と操作したい人のための「軽め」設定が選択できる、モード切替ステアリングを採用している。

N-BOX 搭載のエンジンと CVT をチューニング



ダイナースタイル

3連メーター

シフトレバー



太陽の光が降り注ぐハワイの海岸線をドライブするイメージ



インパネ (グライドスタイル)

Engineer's Voice

開発責任者 (株)本田技術研究所 執行役員 浅木 泰昭さん



まるでショーモデルのような、最初のスケッチのイメージをどうやって完成まで貫くかということに、開発チーム一丸となって情熱を注いだのがこのN-BOX SLASHです。今は、どのようなお客様が私たちの想いを受け止めてくれるだろうと、ワクワクしています。販売店では見て、触れて、乗って、とにかく驚いてくれたら嬉しいですね。サウンドマッピングはきっと、初めての体験をしていただけるはずです。また、もともとが広大な空間と優秀な使い勝手を持ったN-BOXが

ベースですが、シートスライドや電子制御パーキングブレーキなど、さらに便利に快適になっているところにも注目していただけたらと思います。

パッケージ



床下収納と合わせ、4人乗車時で 296ℓの荷室容量

大人がゆったりとくつろげる、余裕のスペースを確保したN-BOX SLASHの空間は、室内長ではクラストップの伸びやかさを実現している。ペットボトルや紙パック飲料、ティッシュボックスなどが収納できる大型のドアポケットを備えるなど、使い勝手も優秀だ。そして大きな特徴が、前後に190mmのスライド機能が付いたリアシート。これにより、足元スペースを広げたい時には後ろに、荷物スペースを優先したい時は前にと、シート位置を変えることが可能。もちろん軽い操作で簡単にシートアレンジができる。チップアップ&ダイブダウン機構付だから、自転車やサーフボードなどの大きな荷物を積み込むのもお手のもの。荷室には床下収納があり、4人乗車時でも296ℓ、リアシート両側をフラットにすれば最大743ℓの大容量を確保している。また、N-BOXより10mmローダウンしたことにより、乗降性も向上している。

インテリア

N-BOXゆずりの広さを生かした、落ち着きと包まれ感のあるロー & ワイドなプライベートブース。直線基調のシンプルな構成で、高い質感にもこだわったのがN-BOX SLASHのインテリアデザインだ。そこに、見た瞬間にストーリーが感じられるような、3タイプの異なる世界観が表現されている。「ダイナースタイル」では、古きよき時代に、若者たちやカスタムカーで賑わっていた街道沿いのレストラン、アメリカンダイナーをイメージ。「セッションスタイル」では、今にもシブい歌声が響いてきそうな、古いジャズやブルースが演奏されるライブハウスを彷彿とさせる。そして「グライドスタイル」は、波の音やヤシの木のシルエットが浮かんできそうな、太陽がまぶしいハワイの海岸線をサーフ&ドライブするイメージだ。どれも、細部のディテールにまでこだわって表現されており、空間全体がまさに型破りな心地よさ。また、ボディカラーはモトーン8色、ツートーン10色の全18色という多彩なバリエーションが用意されている。どの組み合わせにしようか、悩むのも楽しい時間になりそうだ。



セッションスタイルは古いジャズやブルースのライブハウスをイメージ

インパネ (セッションスタイル)

ストーリーを物語るデザイン

